

## 2023.1.21とと道トレイルウォーク（美星-成羽） フォト報告

2022年度3回目の「とと道トレイルウォーク」が2023.1.21(土) 美星・三山-成羽のコースで開催されました。

前回の笠岡—三山ウォークは午前中は氷雨（ひさめ）ということで難儀しましたがこのたびは快晴。寒いながらも大変気持ちよく24名が歩き通しました。このハイブリッド方式であればとと道はどんな天候でも歩けると確認できたのは収穫でした（8:40発・14:00着）。

3回にわたる今年度のとと道ウォークは総計91名の参加を得てこれで無事終了しました。参加の皆さん、そしてコースの整備に汗を流していただいた皆さんありがとうございました。

なお、今年は春に向けて地元の公民館メンバーや倉敷の山の会のメンバーが独自に企画し、推進協議会のメンバーがガイドとして参加するという形式のウォークも企画されています。こうした形のウォークがご希望でしたら事務局までお知らせください。

2018年以來6年間で15回のとと道ウォークを開催、500名近い方にとと道を堪能いただきました。協議会としてはそろそろ、草刈りの済んだ冬場、ガイドブックを片手に自分たちできのままに歩くと言うスタイルが多くなるのではないかと期待しております。



8:40三山八幡下から出発。交差点の角に有名な星空光害防止型の防犯灯があります。このライトは下方だけを照らすので夜空へ無駄な光がもれず、星空観測に適しているとのことで今評判です。



旧三山商店街と言っても今は店はありません。かつては病院や宿屋も有ったとか。その北にある畑の脇の踏み跡を辿って進みます。



この絵は平成の初めまでここに建てていた三山村庄屋の三宅家の建物です。敷地面積は約一反、右どなりが盛定屋敷と呼ばれる三宅家の本家で明治時代に太政大臣のちにすたれ昭和の初め九州へ移って空地となりました。敷地面積約二反、貴人が来村した時にとてなすための式台付の大玄關があり御駕籠石と呼ばれる大石が玄關前にあります。

ここは新屋といひ江戸時代に分家した新しい家で石垣の石が四角くそのまま積まれています。盛定屋敷は石積みの方法から鎌倉室町時代と推測されています。

右に左に曲がってゆくと突然大きな屋敷の絵と説明看板が現れます。かつての三山村の庄屋・三宅家の屋敷跡だそうです。今は画家の三宅はるみさんのアトリエがあります。当協議会の魚仲士をあしらったマークをデザインして下さった方です。



金定の舗装道路に出るとすぐ下に古い理容院がありました。旧商店街の東の端です。ゆるやかな坂道が始り、金定古墳の高みが見えてきます。



このあたりは吉備高原の標高400m地点でいかにも高原風の景色が広がります。路傍に痰咳神と刻字された石を祀った辻堂があります。脇に透明な水が湧いています。



寒い中で枯れ草を集めて焚いている人がいました。その先から森になり伴走車に乗ります。途中右手下にごく小さな大日如来の牛供養碑が見えます。



ほどなくあずきもち入口。川上郡と小田郡の境の道を15分ほどで通り抜けて黒萩神社の神田脇に出ます。



人里離れた感じの洗い場ですがその公民館トイレを拝借して休憩。舗装道路は今では谷沿いを通っていますが、かつてその谷では洪水のたびに道が流され、歩く道は洗場の高みへと登って反対側に下っていました。



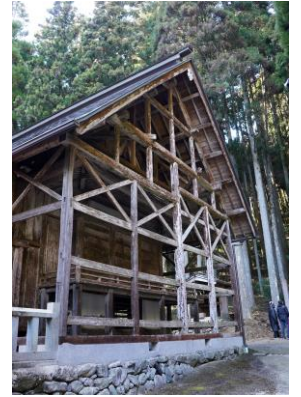
細い山道を登って行くと住宅が現れ、登り詰めた所からは赤い石州瓦の豪邸が見えます。かつて衣服工場を営んでいた方の住宅とのことで久しく空家でしたが昨年春から新しい住人が住まわれているとのこと。ここは美星の最高点です。



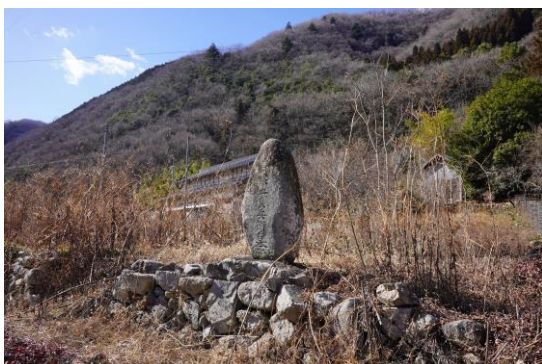
洗場からはバスで日名川の長谷へと下ります。深い谷沿いには様々な道標が並び、寺や社も多く寺小路とも呼ばれ古来往来の多い場所だったことが分ります。最初に現れる岩のかけらの様な道標には右やかけ、左中杉と刻字されています。河原では、葡萄畑に霜よけとして敷き詰めるために茅を刈り取っていました。



美星町と成羽町の境の保木上橋で下車して約2億年前のシダやソテツの化石で有名な日名畑層の説明を受けました。さらに谷を下り、本村に向かい、備中神楽の創作者として有名な西林國橋の顕彰碑を拝見。碑の上の方にある荒神社には藁で編んだ愛嬌のある顔つきの蛇型がとぐろを巻いていました。



お昼はトイレや駐車場のある神楽公園。新たに大国主命の像が建てられていました。昼食後は西側の山の上にある御崎神社を参拝。森の中で湿気が多いということで本殿は屋根を守るために大きな鞘堂でおおわれていました。旧日名小学校は平成11年に閉校となり「日名交流館かぐら」として神楽講習等に使われています。校庭の隅に備前焼の二宮尊徳像がありました。



午後は下日名のとと道遺構歩き。まずは入口の蔵元荒神社に参拝。その実を羽子板の羽根の玉に使うというムクロジュを拝見。漢字では無患子と書くとか。集落へ入る所に昨年までは旧庄屋の廃屋がありましたがすっかり姿を消して、真っ平らな駐車場になっているのには驚きました。少しずつですが景色は変わっています。集落の出口にあるという弓の名人為乗五郎兵衛なる武人の墓碑を確認しました



その後成羽市街入り、町家地区、武家屋敷、御殿屋敷の3地区を通り、サモトラケのニケ像前で記念撮影後美術館前に到着しました。本日は寒いながらも快晴5時間半の適度な行動となりました。

2023.1.21(土)とと道ウォーク行程表 美星・三山→成羽美術館(14.5km)				
	記録	通過地点	歩行	バス乗車
往路	7:50	矢掛町家交流館		送迎バス
	8:00	井原線小田駅前		
	8:20	美星 青空市場(wc)		
	8:30	出発式		
美星— 梨の木峠	8:40	出発		1.バスAコープ 前下車
	8:50	旧三山商店街	1. 徒歩	
	9:25	三山金定(カネサダ)、金定古墳、痰咳様お堂、山之谷道標上まで		
	9:30	大日如来	バスから見学	2.バス
	9:35	あずきもち	2. 徒歩	
	9:50	神田峠(ジンテンダワ)、黒萩公会堂(WC)、洗場口まで		
	10:05	洗場牛供養碑		
	10:30	洗場上		
	10:35	梨の木峠三叉路	バス	
	梨の木峠— 成羽市街	10:50	水名入口道標、影安のお堂	周辺見学
11:05		保木上橋、化石、常夜燈 発11:10	周辺見学	
11:15		道路建設碑(明治18年)	バスから	
11:25		西林国橋先生墓周辺、隅前神社	周辺散策	
11:40		神楽公園(WC)/昼食 御崎神社往復 12:20発	周辺散策	
12:30		蔵元荒神社、庄屋廃屋	3.徒歩	
13:00		県道との合流点		
13:05		日名下の大師堂		4.バス
13:10		成羽市街着		
13:40		常夜灯(1828)、祠、大神宮(玉垣 1857)、恵比須神社、大曲、神楽ロード、河内(河内)鮮魚店まで	4. 徒歩	
14:00	成羽美術館前着(WC)			
復路	14:30	復路バス出発		送迎バス
	15:00	美星青空市場着		
	15:15	小田駅前		
	15:30	やかげ町家交流館		